

<事業実施の方針>

設立から2年が過ぎ、中間支援を中心とした事業を展開していく中で、ネットワーク化をさらに進めるためには、NPO、企業、行政、大学などから地域の活性化を志す人たちが集まり語り合う「場」というものの必要性を強く感じた。

今後それらを達成するために具体的な活動が期待されている中、NPO団体活動内容等調査の継続と、地域資産の活用・地域の保全として里山活性化等地域活性化にむけた交流会の開催、地域の活動団体・行政・企業との協働、専門家（大学等）の参加などによる事業推進のためのネットワークづくり及びそのための場づくり、啓発活動、全国の地域活性化に取り組む団体との交流などを通じて活動を根付かせ、地域課題の解決に取り組んでいく。

このような活動を継続推進するにあたっては、地域住民とのコミュニケーションを図るための活動の拠点としての機能も求められることになり、事務局機能の充実と行政（京都府・福知山市）との協働体制の強化は絶対必要である。

<今年度計画>

以上を踏まえて、2012年度は中丹広域振興局パートナーシップセンター、協働コーディネータなどと協働体制を強化するためにも、京都府の「中間支援団体活動支援事業」に再度応募するとともに、4月に発足予定である一般社団法人京都府北部地域・大学連携機構などにも参加する中で、京都北部を中心としたNPOと企業、大学、行政、地域を結ぶネットワーク構築を目指し、HP、ブログ、フェイスブック、ツイッター、その他地域SNSなどといったITツールを地域活性化に利活用できる基盤作りを中心に次のような事業に取り組むこととする。

また、資金確保及び今後における大学との連携のために、一般社団法人京都府北部地域・大学連携機構の労務関係の補助業務を受託する。

◆ 中間支援団体活動支援事業（継続事業）…現在審査中

内容については別紙を参照

◆ 求職者支援訓練による人材育成（継続事業）

概要：財源の確保と同時に、当NPO法人のミッションでもある地域活性化のため、●農業の担い手を育てることで、京都北部の里山の人材を育てることを目的とした事業

<時期等未定>

現在協力していただける農業団体などを探しているところである

◆ 一般社団法人京都府北部地域・大学連携機構との協働（新規事業）

法人社員として「一般社団法人京都府北部・大学連携機構」に参加する
その中でまずは同法人の下記の事務に対する補助を行う

概要：今年度設立する「一般社団法人 京都府北部地域・大学連携機構」の労務・会計関係を地域公共人財開発機構のスタッフと共に整備する。（機構が本格的に始動する9月までに整備）

<主な活動内容>

- ・ 労務関係の整理&構築
- ・ 社会保険、厚生年金等の手続き

- ・ 給与計算及び税金の処理
- ・ 経理の仕組みの構築等

その後の協働については、その都度大学連携機構のスタッフと協議して決めることとする

◆ その他事業・体制等

組織の認知と組織への参加を図るための広報計画と実施

- ① NPOだよりの発行
- ② ホームページと新しいITツールの連動による情報受発信の整備
- ③ メディアへの発信

会員拡大と資金調達の仕組み

今後の事業展開のためには、行政、大学、商工会議所、金融機関などとの連携をさらに強化していく必要がある。また、賛助会員獲得のための参加メリットを含め、参加してもらえるしくみを考える。

- ① 交流会、イベント、情報誌、HPなどでの入会の呼びかけ
- ② 参加会員獲得のためのしくみづくり

事務局体制

上記事業実施のために事務局体制の充実

- ① スタッフ充実（スキルの向上）
- ② 財源確保のための受託事業・補助金等への申請
- ③ 継続的な財源確保のための事業等の模索

その他事業推進のための活動等

<組織の運営>

1. 理事会の開催
2. 総会の開催
3. プロジェクトチームの運営

⇒必要に応じて各種プロジェクトチームを構成し事業の進行を図る